



もう一つの熱中症

「熱中症」とは、「夏季など強い直射日光に長時間照らされた際に起こる病症。体温の上昇、熱のうっ積を来し、水分及び塩類の喪失、血液循環の障害を招く」ことです。9月に入っても暑い日が続いているため、熱中症対策として、体操服のまま学校生活を過ごしたり、運動場での練習では帽子を着ることを呼びかけたりするなど、体力や暑さへの耐性に個人差があることに留意しながら練習を行っています。

その一方で、もう一つの「熱中症」があります。物事に心を集中し、夢中になって行う症状のことで、現在見られる症状から、『体育祭熱中症』と名付けることができます。

右の写真は、7日から始まった早朝練習の様子を撮影したもので、だんだんと運動場の人口密度が増えていることがわかります。7時30分にはほとんどの生徒が登校してきます。先生方も生徒と一緒に、大きなかけ声を出しています。まるで明日が本番かと思うような熱気が伝わってきます。これがこの先続いたら熱さで倒れないかと心配になってきます。でも、これが詫間中学校のよき伝統でもあります。朝早くからの登校で、ご家庭の皆様にはご迷惑をおかけしますが、よろしくお願いします。



活躍する生徒たち

■ 8月1日、詫間ゆめ街道クリーン作戦がありました。夏休み前に、生徒や保護者の皆様に呼びかけたところ、20名を超える方が参加してくださいました。開会式では、横山市長さんから「地域のボランティアに地元の中学生在がたくさん参加してくれてうれしいです」というお言葉もいただきました。

■ 8月14日、港祭りが行われました。毎年、「詫間中学校生徒会連」が参加しており、今年も、夏休みを返上して、踊りの練習や「きな子」の制作に励みました。その結果、18チーム中準優勝というすばらしい結果を挙げました。右の写真は、三豊市のホームページの「みとよHOTほっとNEWS」に掲載されているもので、踊りの中央でひととき目立っているきな子や、「たくちゅう」とかかれたうちわを持って最後のポーズを決めている笑顔が印象的です。

■ 9月14日、地区英語弁論大会が行われます。本校の代表として、則久綾香さん(2年)と竹林千尋さん(3年)が出場します。それに先立ち、先週の全校集会で、練習の成果を披露してくれました。

暗唱の部に出場する則久さんは、「Little Red」というタイトルで、「赤ずきんちゃん」の内容を話してくれました。竹林さんは「Chihiro, come out of my books」(ちひろ、私の本から出ておいで)というタイトルで、自分が小説を書くことによって学んだ体験談をもとに、堂々と自分の意見を述べてくれました。明日の2人の健闘を祈ります。

